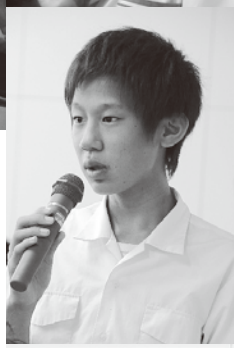
中学生とこれからの長洲町を考える

夢づくりトーク

　中学生と中逸町長がまちづくりなどについて語り合う座談会「夢づくりトーク」は7月17日に腹栄中、18日に長洲中で開催されました。
　トークにはそれぞれ両校の3年生が参加し、これからの長洲町について熱い意見を交わしました。



トークで交わされた意見など（一部抜粋・要約しています）

Q、長洲町にショッピングモールや本屋・映画館など町で誘致できませんか。

A、長洲町に住みたいと思える町にしていくために、このような誘致についても町の計画に盛り込み、引き続き働きかけを行っていきます。皆さんが住みたいと思える町はどんな町なのか、これからも多くの人から意見をいただきたいと思います。

Q.「のしこら祭」など、町の行事やイベントを増やしたらどうでしょうか。

A、現在、町では５月に「火の国長洲金魚まつり」、８月に長洲町夏祭り「のしこら祭り」、１０月に「金魚と鯉の郷まつり」、１月に「的ばかい」を行っています。また、一昨年からは、毎月第４日曜日に地元の海産物、特産物を即売する「ながす軽トラ市」や親子で県産材を使ってものづくりを行う「ものづくり塾」を行っています。これからも、金魚と鯉の郷広場を中心にして、さまざまなイベントを企画していきたいと思います。

Q、ボートピアの収益で、長洲町の借金返済が進んでいると耳にしました。実際にはどのくらい返済できていて、いつ完全返済ができるのですか。

A、ボートピア長洲の売上はその１％が「環境整備協力費」として町に入ってきています。そのお金を借金（下水道事業の赤字）に充てているわけではありませんが、このお金を活用してさまざまな事業を行っています。また、下水道事業の赤字は、当初 20 億ありましたが、来年度には無くなる予定です。

その他の意見など

●金魚の館にもっとたくさんの金魚をおいてはどうか／●長洲駅を改装してはどうか／●長洲町に眼科を作ってほしい／●専門学校を作ってはどうか／●長洲町に給食センターを／●長洲町を緑でいっぱいにするために植樹を進めてほしい／●お年寄りと子どもたちが触れ合う機会を増やしてほしい　など